

事業所名：グループホーム こすも

作成日：平成 27 年 9 月 29 日

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】 注)「項目番号」の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。					
優先順位	項目番号	次のステップに向けて取り組みたい内容	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	38	○人格尊重とプライバシーの確保 接遇委員会を中心に言動の振り返りを図る。 職員個々に対応の差が見られる為、その差を埋めて基本的意識の底上げに繋げる。	・プライバシーの確保に努め、安心感を得て頂くような声かけや明るい雰囲気をつくる。 ・接遇・対応について振り返りの機会を多く持ち、意識向上の啓発に繋げる。	・毎月の全体ミーティング、ユニットミーティングで自己の振り返りを促す。 ・11月から接遇委員会による月1回のマナーアンケート(自己評価)を実施。(ミーティングを活用) ・パーソン、センタードケアを用いた意識開発。	6 ヶ月
2	35	○重度化や終末期に向けた支援 医療ニーズへの対応を強化する為、医療連携医師への協力依頼は勿論、看護師と共に疾患別マニュアルの作成とその対応の勉強会を実施。	・スタッフ全員が看取りについての知識と技術を深める。 ・スタッフ全員が医療機関との対応が図れるようになり、急変時の対応を習得する。	・11月と12月に看取り、急変時対応の勉強会を実施。 ・疾患別マニュアルの作成。マニュアルを基に職員周知の啓発活動をミーティングで実施。	12 ヶ月
3	37	○災害対策 運営推進会議を基に防災訓練の回数を固定化し、地域と共に内容の充実を図る。 ハザードマップの活用。	・防災訓練の年間計画の改定及び内容の充実を図る。	・10月、運営推進会議での防災訓練協力依頼。 ・年間計画の改定。 ・備蓄物品の見直し。	12 ヶ月
4	4	○運営推進会議を活かした取り組み 議題に応じて学校教員や警察、農家の方や商店など、会議参加依頼を検討していきたい。 地域の方々と行事予定の計画を立案していく。	・運営推進会議を、事業所運営の報告内容等のみだけでなく、地域の困りごとや、利用者様のニーズについての対応方法など、議題に応じて多種多様に活用出来る会議にする。	・利用者様の地域参加機会を多くする。 ・二川小学校との交流がある為、小学生や教員へ会議の参加依頼を検討。	24 ヶ月
5	42	○食事を楽しめる支援 以前行っていた「干し柿」や「梅干し」作りなどの機会を設けたり、利用者様と協同で作る料理を楽しむことを目標に「できる力」を引き出す料理の実現を図る。	・食事を、『利用者様とスタッフの協同活動』であるという認識をスタッフ全員が理解する。 ・食事の献立を利用者・スタッフのみんなで作成できるようになる。	・10月中に利用者様と畑をつくる。 ・料理(食事)を通して、役割りがもたらす認知症ケアについての勉強会を実施。 ・漬物作りを実施。利用者様にスタッフが指導を受ける。	24 ヶ月